



平成16年6月2日

各 位

会 社 名	株 式 会 社 ニ ッ シ ン
代表者の役職氏名	代表取締役社長 寄岡邦彦 (東証・第一部 コード番号:8571)
問 い 合 わ せ 先	常務取締役管理本部長 檜垣 均
電 話 番 号	(東京) 03 - 3348 - 2424

## オリエント信販株式会社への債権譲渡完了に関するお知らせ

当社は、オリエント信販株式会社（本社：東京都千代田区岩本町1-6-3、社長：中野喜文）との間で、平成16年5月6日に締結した消費者ローン債権の譲渡に関する債権譲渡契約書に基づく譲渡手続きを、平成16年6月1日に下記のとおり完了いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 譲渡の内容

- (1) 譲渡口座数 : 80,879 口座
- (2) 譲渡価額 : 金 32,942,796,769 円

#### 2. 当社業績に与える影響

今回の消費者ローン債権の譲渡より、当該譲渡を実施しなかった場合と比べ営業収益が6,744百万円減少するものの、貸倒損失が3,105百万円減少することに加え、特別利益として貸倒引当金戻入益3,547百万円が計上されるものと見込んでおります。

これによる今年度の業績予想は、平成16年5月6日発表の「平成16年3月期 決算短信(連結)」及び「平成16年3月期 個別財務諸表の概要」に記載のとおりであります。

#### 3. 将来予測に関する記述について

本資料には、当社グループの意図、信念、現在および将来の予測、または連結、個別の業績、財務状況に関する経営陣の意図、信念、現在および将来の予測に関する記述が収録されております。記載されている歴史的事実以外の将来に関するすべての記述につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測であります。かかる将来予測に関する記述は、将来の業績を保証するものではなく、潜在的なリスクや不確実性をともなうものであり、実際の業績は様々な要因により将来予測に関する記述とは大きく異なる可能性がありますのでご注意ください。

実際の業績に影響を与えうる潜在的なリスクや不確実性をともなう要因には、以下のようなものが含まれます。

- ・日本国内の経済環境の悪化、およびそれにもなう自己破産、企業倒産の増加
- ・大手消費者金融企業、および金融機関等による顧客獲得競争
- ・日本国内の不安定な資本市場の先行き、および好条件での資金調達先の有無
- ・金利規制等の法令、貸金業規制法の改正、および日本の金融政策等の政策変更
- ・消費者、事業者金融業界全般に対する、または当社個別に対するネガティブな報道
- ・当社が戦略的な提携、および合併事業を成功、維持させる能力
- ・当社の利用する情報、基幹システム、およびネットワークシステムの信頼性

ただし、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではなく、リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響も含まれます。

以 上